２０２６年度　東京都立大学大学院

人文科学研究科　入学試験

（２月入試）

教室名（分野名）	日本語教育学教室
課程	博士前期課程
試験区分	□　一般学生 ☑　外国人特別学生（留学生）
試験科目名	外国語（日本語）問題
出題の意図	**外国語（日本語）問題** 受験する留学生は日本語で書かれた学術的な文書を精読し、用語や表現、論点などを適切に把握する力を測る。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2026年度大学院博士前期（修士）課程入試問題
日本語教育学教室　外国語（日本語）2月実施

番号	氏名

以下の問題文は、『日本語教育・日本語学の「次の一手」』(庵功雄著、くろしお出版、2013年）の「1　What なき How 論」の危うさ」(pp.10-18.)である。読んで以下の問いに答えなさい。解答は全て解答用紙に日本語で書きなさい。解答するときは、問題番号を書いてから記述しなさい。

問1．下線部（1)「初級文法シラバスの原型」について、本文に即して、1行程度で説明しなさい。

問2．下線部（2)「日本語教育を取り巻く状況は大きく変化している」とはどういうことか。本文に即して、解答用紙3行以内で説明しなさい。

問3．下線部（3)「「推量の「でしょう」」が言いきりで使われることは自然会話では非常に少ない」とあるが、「推量の「でしょう」」の言いきり以外の例文を2つ書きなさい。

問4．下線部（4)「この形式は「初級」で「産出レベル」のものとして導入する必要がない」とあるが、なぜか。本文に即して、3行以内で説明しなさい。

問5．下線部（5)「ここでの問題点は、「理解レベル」と「産出レベル」の混同にある。」とはどういうことか。本文に則して具体的に説明しなさい。

問6．下線部（6)「進行中と結果残存（と繰り返し）の用法」とあるが、それぞれの用法の例文を一文ずつ（合計3文）書きなさい。

問7．下線部（7)「二重の意味で問題が大きい」とあるが、なぜか。本文に即して3行以内で説明しなさい。

問8．下線部（8)「What と How の望ましい関係」について筆者の考えを3行程度で説明した上で、あなたの考えを自由に記しなさい。なお、解答用紙で１０行以上使うこと。

1 「What なき How 論」の危うさ

文法教育の必要性を問い直す

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

２０２６年度　東京都立大学大学院

人文科学研究科　入学試験

（２月入試）

教室名（分野名）	日本語教育学教室
課程	博士前期課程
試験区分	□　一般学生 ☑　外国人特別学生（留学生）
試験科目名	基礎知識問題
出題の意図	**基礎知識問題** 日本語教育学やその関連分野において基礎的概念をどこまで理解しているか、そしてそれを簡潔に解説できる力を持っているかを問う。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2026年度大学院博士前期（修士）課程入試問題
日本語教育学教室　専門分野基礎知識　２月実施

番号		氏名	

次の中から８題を選び、それぞれについて300字程度で述べなさい。1題ごとに1枚の解答用紙を用いて、受験番号と氏名、選んだ問題番号と題目を一行目に明記しなさい。解答は横書きにしなさい。

1. 閉鎖音
2. フォルマント
3. 社会構成主義
4. 統合的動機と道具的動機
5. 形成的評価
6. プロセサビリティ理論
7. ソーシャル・ターン
8. モダリティ
9. 日中同形語
10. フィラー
11. 品詞の転成
12. 合成語
13. 調整頻度
14. ヴォイス

２０２６年度　東京都立大学大学院
人文科学研究科　入学試験
（２月入試）

教室名（分野名）	日本語教育学教室
課程	博士前期課程
試験区分	□　一般学生 ☑　外国人特別学生（留学生）
試験科目名	論文問題
出題の意図	**論文問題** 日本語教育学分野の高度な概念を総合的に論述する能力を測定する。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2026年度大学院博士前期（修士）課程入試問題
日本語教育学教室　論文　２月実施

番号		氏名	

次の問題から１題を選び、論じなさい。選んだ番号と題目を解答用紙の一行目に明記しなさい。解答は横書きにしなさい。

1. 第２言語教育における音響分析の方法と意義
2. 言語教育とアイデンティティ
3. 日本語の品詞認定
4. 習得研究における言語形式と言語機能について
5. 話し言葉コーパスの利点と問題点